

令和５年度自己評価表（目標）

鳥取県立青谷高等学校

長期目標 (学校ビジョン)	～ふるさとキャリア教育 生涯学び続けるために～ 自分らしさに誇りを持ち、社会で信頼され、社会に貢献する人材の育成	今年度の 重点目標	1 知を磨く	○進路実現100% 生涯にわたって学び続ける力を育成する。
			2 徳を高める	○ルールを守り、郷土愛や社会の一員としての自覚と使命を育む。
			3 健康を育む well-being	○ひとり一人が輝き、皆から愛され必要とされる存在を目指す。
			4 業務改善の推進	○時間外業務時間縮減を推進する。

評価基準 A：十分達成（95%） B：概ね達成（75%程度） C：変化の兆し（60%程度） D：まだ不十分（40%程度） E：目標・方策の見直し（30%以下）

年 度 当 初					評 価 結 果 () 月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標（年度末の目指す姿）	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
1 知を磨く	○進路実現100% 生涯にわたって学び続ける力を育成する。	○昨年度進路実現率98.1%。 ○全年次で平日及び夏季補習を実施。学校推薦型選抜や総合型選抜等、年次を超えて指導することができた。 ○少人数授業や、T Tや特別支援教育支援員の支援等により、学ぶ意欲が高まった生徒がいる。 ○コンクール、各種大会に参加し、全国での入賞を果たした。 ○「授業で基礎的・基本的な学力が身についている」と思う生徒は36.5%。【指標①・学⑬】 (R2:24.6%→30.6%→R4:36.5%) ○「授業の予習や復習をしている」と肯定的に思う生徒は57.7%。【指標②・学⑭】 (R2:43.7%→60.0%→R4:57.7%) ○「講演会等が進路や生き方を考えるのに役立っている」と肯定的に思う生徒は約93.6%。【指標③・学⑰】 (R2:82.6%→94.4%→R4:93.6%)	○進路実現100%。勤労観、職業観が育ち、希望進路の実現に向けて努力している。 ○社会が認める力、社会が求める力を育成している。 ○「授業で基礎的・基本的な学力が身についている」と思う生徒が40%以上。【指標①・学⑬】 ○「授業の予習や復習をしている」と肯定的に思う生徒が65%以上。【指標②・学⑭】 ○「講演会等が進路や生き方を考えるのに役立っている」と肯定的に思う生徒が90%以上。【指標③・学⑰】	○進路、年次及び授業担当者との密な連携。 ○個に応じた適切な指導、支援。 ○I C T活用の推進。 ○青谷学Ⅰ及び青谷学Ⅱの充実。 ○各種検定や各種コンクールへの早期の案内と支援。			
2 徳を高める	○ルールを守り、郷土愛や社会の一員としての自覚と使命を育む。	○学校行事等で主体的に計画を立てたり、実行したりできる生徒が増えつつある。 ○「学校生活で周囲の人たちとの人間関係は良好」と思う生徒は44.9%。【指標④・学⑱】 (R2:51.3%→55.0%→R4:44.9%) ○「地域や学校外でのボランティア活動に参加した」生徒は54.5%。【指標⑤・学⑳】 (R2:40.4%→48.9%→R4:54.5%)	○相手の立場を意識した行動がとれるようになる。 ○生徒の地域に関する興味関心が高まっている。 ○「学校生活で周囲の人たちとの人間関係は良好」と思う生徒が60%以上。【指標④・学⑱】 ○「地域や学校外でのボランティア活動に参加した」生徒が60%以上。【指標⑤・学⑳】	○ルールやマナーに対する継続的な声かけ。 ○職員間での情報共有と個々に応じた丁寧な指導、支援。 ○教室のロッカーの活用。 ○人権L H Rなど各種講演会の充実や地域との連携。 ○青谷学Ⅰ・Ⅱを通じて地域について学び、地域貢献や交流を図る。 ○ボランティア活動の推進。			
3 健康を育む well-being	○ひとり一人が輝き、皆から愛され必要とされる存在を目指す。	○授業規律は概ねよいが、遅刻、欠席の目立つ生徒もいる。 ○健康観察の入力が習慣化できていない生徒がいる。 ○虫歯の治療率は低いが、改善傾向にある。 (R2:21.1%→22.1%→R4:29.2%) ○R5・1月末欠席率3.03% 遅刻率1.60%。 欠 (R3:2.71%→2.46%→R5:3.03%) 遅 (R3:1.02%→1.00%→R5:1.60%) 【指標⑥】 ○部活動は充実していると肯定的に思う生徒は93.7%。【指標⑦・学㉑】 (R2:79.4%→84.9%→R4:93.7%)	○基本的な生活習慣（時間・挨拶・マナー等）について考えて行動できる。 ○自己の健康の維持増進について関心を持ち、健康状態の向上に努めることができる。 ○生徒会活動、学校行事に生徒が積極的に関わっている ○欠席率・遅刻率2%未満。【指標⑥】 ○部活動は充実していると肯定的に思う生徒が90%以上。【指標⑦・学㉑】	○肯定的な声かけと、家庭との連携。 ○生徒会執行部が主体的に企画、運営できるよう支援する。 ○外部人材の活用。 ○部活動の充実。 ○公式Instagram、ホームページの活用。			
4 業務改善の推進	○時間外業務時間縮減を推進する。	○行事や講演会等が多く行われ、教職員に負担感がある。 ○時間外業務時間の全体平均は少なく、月45時間以上の延べ人数は9人である。【指標⑧】 (R2:延べ1人→0→R4:9人) ○R4年休取得は平均年14.48日。 (R2:12.66日→13.56日→R4:14.48日) 【指標⑨】	○教職員が健康で教育活動が充実。 ○全教職員が、時間外業務時間は月45時間以内、年360時間以内。【指標⑧】 ○教職員の年休取得が平均年15日。【指標⑨】	○管理職による声かけ。 ○毎月の部活動計画及び部活動実績報告。 ○業務日誌等のデジタル化など教育D Xを進める。 ○会議資料の事前配付に努める。			